

出会いから結婚・子育てまでの切れ目ない支援のための 県民意識調査結果（概要版）

1 調査の目的

この調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない支援を推進していくうえでの基礎資料とさせていただくことを目的として行うものです。

2 調査の概要

○高知県内全域の18歳以上39歳以下の県民4,000人を対象に実施。

有効回収数： 1,386票(有効回収率 34.7%)

○調査期間：令和2年8月24日（月）～ 9月7日（月）までの14日間。

3 調査対象者の属性

○性別：男性 556人(40.1%)、女性 819人(59.1%)、その他 5人(0.4%)、無回答 6人(0.4%)

○年齢層：18歳～24歳 422人(30.4%)、25歳～29歳 373人(26.9%)、30歳～34歳 339人(24.5%)
35歳～39歳 247人(17.8%)、無回答 5人(0.4%)

4 調査の結果

別紙のとおり

調査結果

【1. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について】

問1 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか

「どちらともいえない」が38.8%と最も高く、次いで「ややそう思う」23.7%、「あまりそう思わない」20.6%と続いている。

【2. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて】

問2 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために、特に力を入れるべき施策

「ワークライフバランスの推進」が56.0%と最も高く、次いで「妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備」55.8%、「保育サービス等の子育て支援策の充実」50.3%と続いている。

問3 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている事業の認知度および関心度

1. 高知県少子化対策推進県民会議

「関心がない」が53.4%と最も高く、次いで「関心がある」24.2%、「活用したことがない：関心がない」14.4%と続いている。

2. 高知家の出会い・結婚・子育て応援団

「関心がない」が38.6%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」22.6%、「関心がある」21.0%と続いている。

3. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー

「関心がない」が42.6%と最も高く、次いで「関心がある」23.9%、「活用したことがない：関心がない」19.0%と続いている。

4. 高知で恋しよ！！応援サイト

「関心がない」が52.4%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」20.9%、「関心がある」11.9%と続いている。

5. 高知で恋しよ！！マッチング（会員制のお引き合わせシステム）

「関心がない」が 55.6%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」20.4%、「関心がある」12.0%と続いている。

6. 高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）

「関心がない」が 51.4%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」21.4%、「関心がある」11.8%と続いている。

7. 婚活サポーター（サブサポーター）

「関心がない」が 59.5%と最も高く、次いで「活用したことがない：関心がない」18.8%、「関心がある」13.1%と続いている。

8. こうち子育て応援の店

「関心がない」が 41.8%と最も高く、次いで「関心がある」29.4%、「活用したことがない：関心がある」13.4%と続いている。

9. 高知の子育て応援サイト「こうちプレマnet」

「関心がない」が 46.2%と最も高く、次いで「関心がある」28.3%、「活用したことがない：関心がある」11.0%と続いている。

問4 高知県の少子化対策や取組について行っている情報発信の取り組みを知っているか

「知らない」が61.3%と最も高く、「知っている」の24.3%より37ポイント高くなっている。

【3. 出会い・結婚について】

問5 結婚についての考え方

「無理してしなくても良い」が 44.2%と最も高く、次いで「できればしたほうが良い」41.4%、「必ずしたほうが良い」11.3%と続いている。

問6 交際状況について

「すでに結婚している」が34.8%と最も高く、次いで「現在交際している人はいない（かつてはいた）」28.6%、「現在交際している人はいない（まだ交際経験がない）」19.8%と続いている。

問7 交際相手と知り合ったきっかけ

「職場や仕事の関係（アルバイト先も含む）で知り合った」が29.5%と最も高く、次いで「学校で知り合った」21.8%、「友人や兄弟姉妹の紹介で知り合った」18.2%と続いている。

問8 交際相手との出会いを求めるときに行いたいこと

「特に何もしない」が37.9%と最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹に紹介を頼む」と「職場や仕事の関係で出会いをを求める」が同率で27.4%、「学校・職場以外のサークルやクラブ活動に入ったり、習い事をはじめ」が23.7%と続いている。

問9 将来結婚をしたいか

「いずれは結婚を選択したいと思う」が50.0%で最も高く、次いで「結婚を選択する意思はない」12.6%、「2,3年以内には結婚を選択したいと思う」11.7%と続いている。

問10 結婚をしていない理由

「適当な相手にまだめぐり合わないから」が41.1%で最も高くなっている。次いで「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」26.3%、「安定した就労状況でないから」24.1%と続いている。

問11 適当な相手にまだめぐり合わない理由

「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が34.5%と最も高く、次いで「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」25.2%、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいらない」16.5%と続いている。

問12 出会いや結婚に関する行政の支援で必要なこと

「結婚生活を始める際の金銭的な支援（引っ越し費用や家賃への補助、祝金の支給など）」が46.5%と最も高く、次いで「出会いを直接の目的としない交流の場としてのイベントの実施への支援」39.5%、「出会いを目的としたイベントの実施への支援」29.5%と続いている。

【4. 子育てについて】

問13 理想的な子どもの人数

「2人」が49.7%と最も高く、次いで「3人」32.5%、「1人」6.9%と続いている。

問14 実際に持ちたいと思う子どもの人数

「2人」が53.8%と最も高く、次いで「3人」19.2%、「1人」13.4%と続いている。

問15 理想の数だけ子どもを持たない理由

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が79.3%で最も高く、次いで「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」33.1%、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられそうにないから」24.0%と続いている。

問16 理想の数だけ子どもを持つために必要な環境

「希望どおり産休や育休が取得できる」が48.8%と最も高く、次いで「保育園、幼稚園、認定こども園などへの入園の見通しが立っている」39.0%、「出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある」38.2%と続いている。

問17 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な制度、仕組みとは

「育児休業制度」が36.2%と最も高く、次いで「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」35.8%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」27.9%と続いている。

【5. 三世同居・近居について】

問18 自分又は配偶者（パートナー）の親との同居・近居の有無

「現在、同居・近居していない」が37.4%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）の親と近居している」22.4%、「自分の親と近居している」17.7%と続いている。

問19 同居・近居したきっかけ

「結婚をきっかけに同居・近居した」が39.7%と最も高く、次いで「自宅又は親の住宅の新築・改築などをきっかけに同居・近居した」24.0%、「結婚前から引き続き同居している」13.9%と続いている。

問20 出産後の住まいについて

「特に希望はない」が31.0%と最も高く、次いで「自分の親と近居したい」29.8%、「同居も近居もしたいと思わない」12.5%と続いている。

問21 自分又は配偶者（パートナー）の親と近居・同居できていない理由

「自分又は配偶者（パートナー）の仕事の関係で同居や近居が困難である」が40.3%と最も高く、次いで「同居・近居のための住宅を用意することができない」32.5%、「子どもの教育の関係（学校や塾、習い事など）で同居や近居が困難である」10.4%と続いている。

問22 親と同居・近居するメリット

「親に家事・育児を手伝ってもらえる」が72.9%と最も高く、次いで「親の安否がすぐに確認できて安心である」41.7%、「衣食住における経済的な負担が軽くなる」31.8%と続いている。